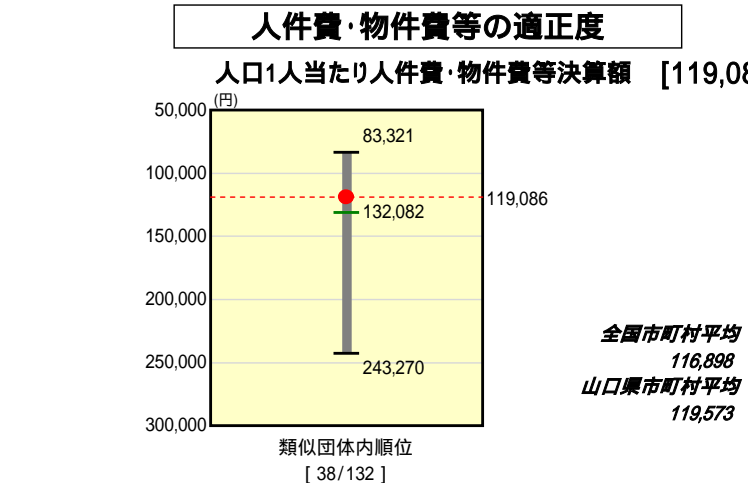
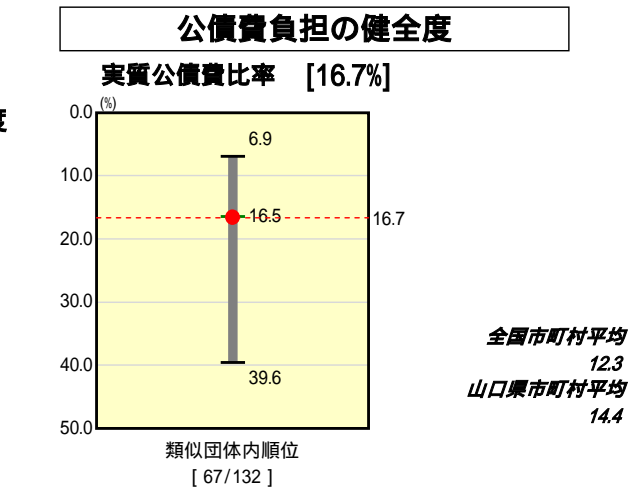
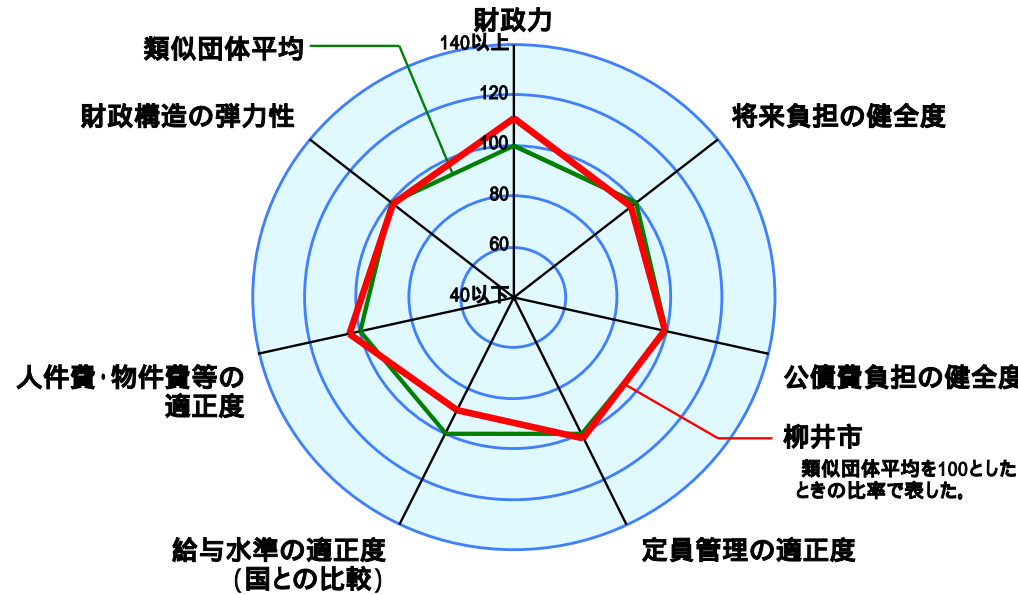
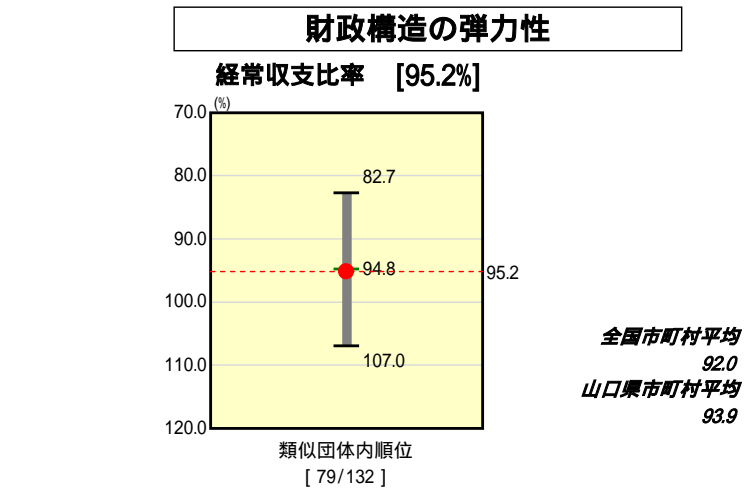
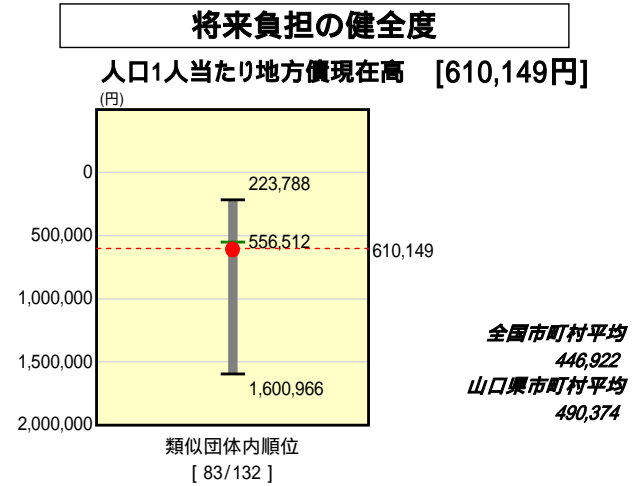
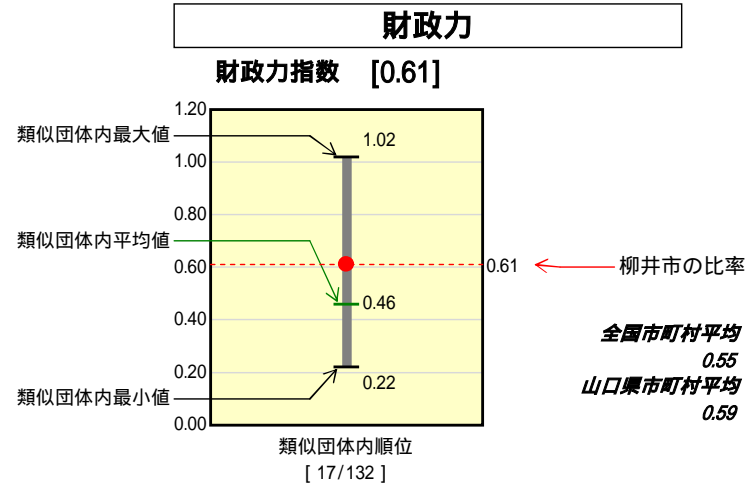


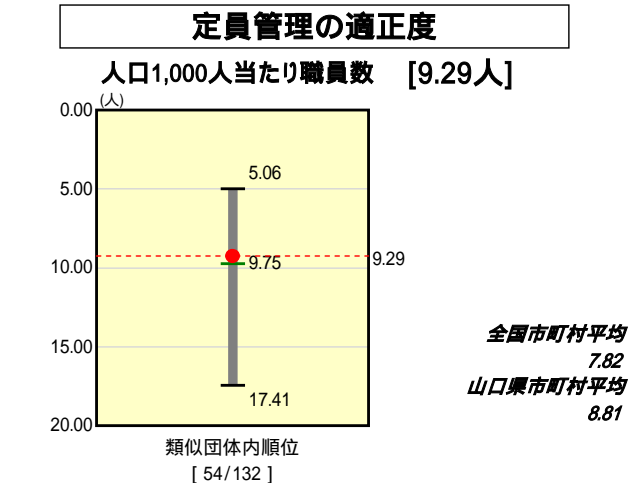
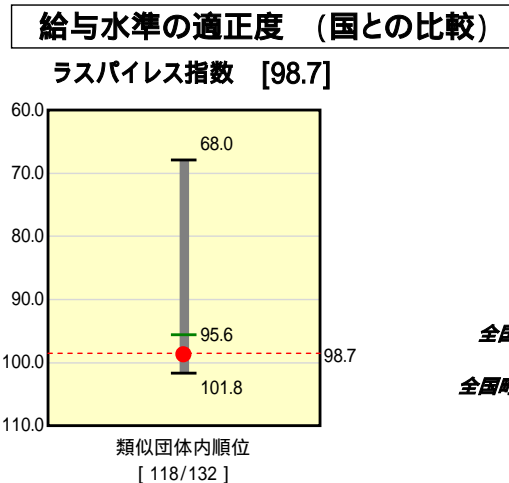
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

山口県 柳井市

人口	36,051	人(H20.3.31現在)
面積	139.90	km ²
歳入総額	15,258,590	千円
歳出総額	15,000,280	千円
実質収支	227,211	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 類似団体平均を上回る数値となっているが、大型事業所設備等の償却期間の経過とともに低下傾向となっている。後年の財政基盤の安定化と市民参加の推進による個性ある地域づくりの展開に努める。

経常収支比率: 歳出削減に努めており、ほぼ類似団体平均の数値ではあるが、財政の硬直化を改善すべく、今後も定員適正化、補助金等の縮減、事務事業の見直し等の集中改革プラン実施実現に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均を若干下回っているが、今後も定員適正化、事務事業の見直し等の集中改革プラン実施実現に努める。

ラスバイレス指数: 類似団体平均より3.1ポイント上回っている。類似団体平均、全国市平均の状況を踏まえつつ、引き続き給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 慢性的な水不足という地域特性を改善すべく取組んだ広域水道事業の起債残高が全体の約25%と大きく、類似団体平均を上回っている。今後も適正な事業選択を行い、新規発行債の抑制と世代間平準化に努める。平成19年度から21年度にかけて繰上償還を行い、起債残高を減らすよう努める。

実質公債費比率: 慢性的な水不足という地域性を改善すべく取組んだ広域水道事業と、地域環境改善のための下水道普及向上対策によるものがそれぞれ約4%程度押し上げているが、ほぼ、類似団体平均の数値である。今後とも新規発行債については、適正な事業選択を行い、新規発行債の抑制と世代間平準化に努める。平成19年度から21年度にかけて繰上償還を行い、起債残高を減らすよう努める。

人口1,000人当たり職員数: 類似団体平均を若干下回っているが、更なる縮減に努める。集中改革プランの定員適正化(平成22年時点で19人減)は既に達成したが、更なる縮減に努める。